

緊急点検結果に基づく取組強化について(案)

H31(2019).4.25 河川課

1 緊急点検の趣旨及び経緯

平成30年7月豪雨による西日本を中心とした被害を鑑み、県内の警戒避難体制等を確認するとともに、減災のための取組を強化することを目的として緊急点検を7月に実施した。

その後、12月の担当者会議において構成員が相互に確認をおこない、課題を抽出し、取組強化すべき事項について検討を進めてきた。

今回、緊急点検結果に基づく「強化すべき取組」を、2019年度から栃木県減災対策協議会の取組とすることで、計画的かつ着実に「洪水からの逃げ遅れによる人的被害ゼロ」を目指す。

2 緊急点検結果に基づく「強化すべき取組」

緊急点検を踏まえ、以下の取組を県が実施することで市町の支援を行う。

<p>スマートフォン版防災情報HP作成</p> <p>【抽出した課題】 ・情報発信力のある県でも防災情報を発信してもらいたい。</p> <p>【取組強化】 ・防災情報を容易に閲覧できるスマートフォン版防災情報HPを作成する。</p>  <p>防災情報取得方法の改善</p>	<p>避難所相談（県有施設）</p> <p>【抽出した課題】 ・浸水想定区域の拡大に伴い、避難所の見直しが生じ、その選定に苦慮している。県有施設を避難所として検討する場合、手続きをスムーズに進めたい。</p> <p>【取組強化】 ・市町が県有施設を避難所として検討する際は、県は積極的に相談に応じる。</p>  <p>効果的なHM作成促進</p>	<p>マッチング事例紹介</p> <p>【抽出した課題】 ・避難確保計画の必要性が理解されず計画作成が進まないため、優良事例の紹介等が必要。</p> <p>【取組強化】 ・避難確保計画のみならず、他の取組も含め、取組が進んでいる市町の好事例を悩んでいる市町に情報提供する場を創出する。</p>  <p>取組進捗促進</p>
--	---	---

3 今後のスケジュールについて

「強化すべき取組」を栃木県減災対策協議会の取組に位置付け、令和3(2021)年度までに実行する。

取組内容	主体	2019年度				2020年度				2021年度			
		4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3
スマホ版防災情報HP	県	関係機関協議調整				HP設計				HPシステム改築			
	市町												
避難所相談(県有施設)	県	随時											
	市町												
マッチング事例紹介	県	進捗状況		マッチング事例紹介		進捗状況		マッチング事例紹介		進捗状況		マッチング事例紹介	
	市町	ニーズ把握		マッチング事例紹介		ニーズ把握		マッチング事例紹介		ニーズ把握		マッチング事例紹介	

これまでの経過(平成30年7月豪雨を踏まえた緊急点検)

第1回連絡会
(H30.7.30)

実態把握

【内容】 ○実態把握のための調査依頼

【趣旨】 ○本県の警戒避難体制の確認(平成30年7月豪雨規模に本県は耐え得るのか?)

第2回連絡会
(H30.10.30)

取組強化の必要性を共有

【内容】 ○調査結果(実態把握)の共有(事務局で整理した考察・課題の提示)
○意向調査の依頼(事務局案以外の課題、課題に対する具体的対応)

【趣旨】 ○実態を把握したところ、本県においても被災地(西日本)と共通のことが課題となり得ることが判明
○このことから、近年の豪雨被害の頻発を踏まえ、協議会全体として取組強化する方向性とした

第1回担当者会議
(H30.12.14)

取組強化内容の調整

【内容】 ○意向調査結果の共有
○課題に対する具体的対応の確認(時期、頻度、期限等の聞き取り確認)

【趣旨】 ○協議会全体で取組強化する内容決定に向け調整(具体的対応をベースに取組強化内容に反映)

第1回連絡会
(H31.4.25)※今回

取組強化内容の提案

【内容】 ○緊急点検結果(や意向調査結果)に基づく取組強化内容の提案

【趣旨】 ○協議会前に構成員と議論し、合意形成を図る

減災対策協議会
(R1.5.30)

【内容】 ○緊急点検結果に基づく取組強化内容を決定

【趣旨】 ○強化すべき取組を栃木県減災対策協議会の取組に位置づけ